

奉行通信



第42期 第2四半期ご報告

2020年4月1日～2020年9月30日

すべての業務とつながるひろがる
奉行クラウド

 株式会社 オービックビジネスコンサルタント

証券コード：4733

ひと目でわかる! OBC

OBCは、テレビCMでおなじみの「勘定奉行」をはじめ、企業の基幹業務に特化した国産パッケージシステム「奉行シリーズ」の開発、販売および保守・導入を行っている会社です。

OBCのコアコンピタンス

企業業務
(会計・人事・給与等)の
業務サービス
にフォーカスする

中堅および
中規模・小規模企業に
フォーカスする

マイクロソフトの
テクノロジー
にフォーカスする

パートナー戦略
にフォーカスする

ブランド戦略
にフォーカスする

OBCのクラウド製品

業務クラウド国内No.1ブランド「奉行シリーズ」

小規模・中小企業向け基幹業務クラウド

すべての業務とつながるひろがる
奉行クラウド

従業員向け働き方改革ソリューション

奉行クラウドEdge
業務プロセスプラットフォーム

中堅・上場企業向けクラウドERP

即戦力型クラウドERP
奉行VERP

奉行クラウドと奉行クラウドEdgeの5つの強み

1

今まで以上の高品質
機能性・スピード・
操作性

2

いつでも どこでも
テレワーク
多様な働き方対応

3

つながる ひろがる
データ連携
APIエコノミー

4

職業専門家ライセンス
専用ライセンスを
標準提供

5

次世代マイクロソフト
テクノロジー
ネイティブ開発による
安心・安全

導入社数累計 **651,000**社

奉行クラウド・奉行クラウドEdge
導入社数累計 **33,100**社以上

※2020年10月現在

株主の皆様へ



代表取締役社長
和田 成史



代表取締役副社長
和田 弘子

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス産業においては、緊急事態宣言解除後は、テレワークやリモート会議等に対するシステム需要が一巡したものの、引き続き提供するシステムやサービスに安全面や機能の充実、より高い操作性が求められております。

このような環境のもと、当社はリモートによる商談、webでの操作指導を併用しながら、お客様、パートナー様とのコミュニケーションの機会を補完し、「奉行クラウド」を中心とした提案活動を進めてまいりました。

今後も「顧客第一主義」を念頭に置き、企業環境の変化をとらえ、信頼性・拡張性・柔軟性を兼ね備えたシステム開発やサービスの提供に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご厚情ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

当第2四半期の業績

売上高 **137億80**百万円
(前年同期比 \downarrow 12.0%減)

経常利益 **61億61**百万円
(前年同期比 \downarrow 18.8%減)

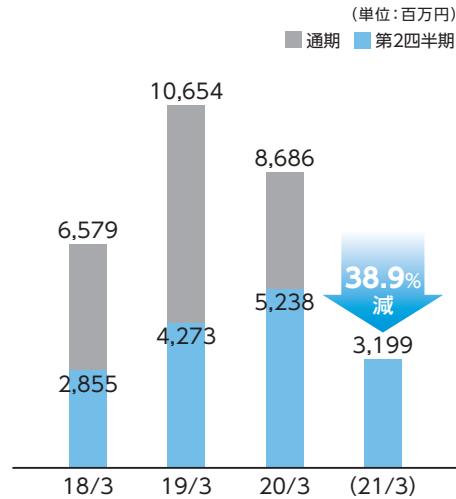
四半期純利益 **42億62**百万円
(前年同期比 \downarrow 20.3%減)

当第2四半期のポイント

◎前第2四半期は自社製品のサポート終了による駆け込み需要、消費税制度改正に伴う新規需要が好調であり、当第2四半期はその反動減による減収減益となりました。

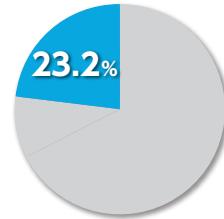
品目別の状況

ソリューションテクノロジー



◆当第2四半期の状況

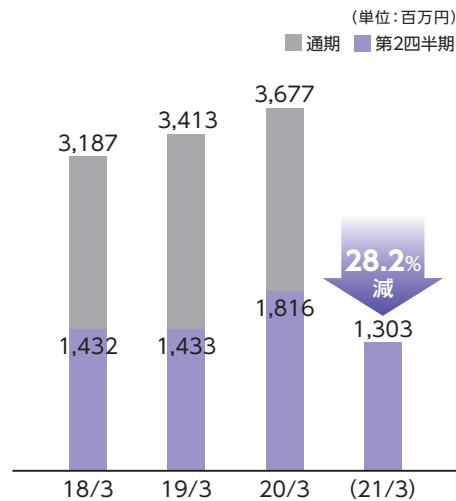
ソリューションテクノロジーの売上高は、31億99百万円（前年同期比38.9%減）となりました。前期の消費税改正による奉行シリーズの新規需要の増加に対する反動減に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受注の落ち込みが影響しました。



❖事業内容

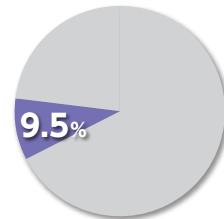
中堅および中規模・小規模企業を中心に、ITを活用したソリューションとして、「奉行シリーズ」をはじめとするソフトウェアを提供。「奉行クラウド」をはじめ企業規模やニーズに合わせた豊富なラインアップを用意しております。また、上位製品へのバージョンアップも当品目の売上高に含まれます。当社のソフトウェアは、販売・パートナーとの強固な連携による供給体制が確立されており、それらが強い競争力と安定成長力の基盤となっています。

関連製品



◆当第2四半期の状況

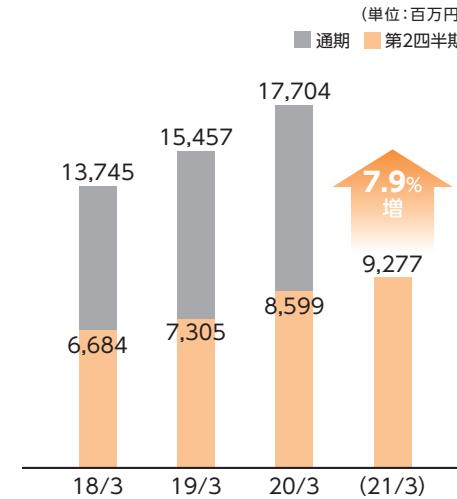
関連製品の売上高は、13億3百万円（前年同期比28.2%減）となりました。ソリューションテクノロジーと同様に反動減により奉行連動ソリューションが減少しました。



❖事業内容

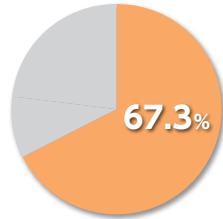
「奉行シリーズ」専用の仕様となっている伝票・帳票などの「奉行サプライ」を提供。このサプライ製品は、奉行シリーズをご購入いただいたお客様との継続的な取引につながる安定した収益源です。また奉行シリーズと連動して使用される他社開発のハードウェア、ソフトウェアの供給に伴う売上や、EB関連製品などの売上も、当品目の売上高に含まれています。

サービス



◆当第2四半期の状況

サービスの売上高は、92億77百万円（前年同期比7.9%増）となりました。奉行保守契約料、「奉行クラウドEdge」が増加した一方、新型コロナウイルスの影響によりインストラクター指導料が減少しました。



❖事業内容

システム導入後のユーザーサポートを目的とした「年間保守契約」や「オンライン・電話回線等サポートサービス」を提供。また、基幹システムの範囲を超える業務を補う「奉行クラウドEdge」を多種展開。お客様目線に立ったきめ細かなサポート体制を確立しています。こうしたサービスは、当社製品の市場における評価・優位性につながるだけでなく、売上にも大きく寄与しています。

通期の見通し

見通しが不透明なコロナ禍ではありますが、下期には、10月に「パートナーカンファレンス」、11月に「奉行クラウドフォーラム」を初のオンラインで開催するなど、当社は引き続き、「業務のデジタル化」を推進するため、奉行シリーズの3つのクラウドモデルにより、ビジネスイノベーションを起こしてまいります。

営業活動においては、今後もデジタルコンテンツを活用したニーズ発掘活動の強化を行いながら、自社製品のサポート終了によるバージョンアップ需要や、オンラインセミナーの強化・テレワーク等の需要の取り込みを推進してまいります。

これからも当社は「顧客第一主義」を念頭に置き、今まで以上に利便性や信頼性を備え、高い満足をいただけるシステムや業務サービスの企画・開発、サポート＆サービスの提供をし続けることに努めてまいります。

■2021年3月期業績予想 (単位: 百万円)

	金額	前期比
売上高	30,500	1.4%増
営業利益	12,700	2.2%減
経常利益	13,500	3.8%減
当期純利益	9,160	8.0%減

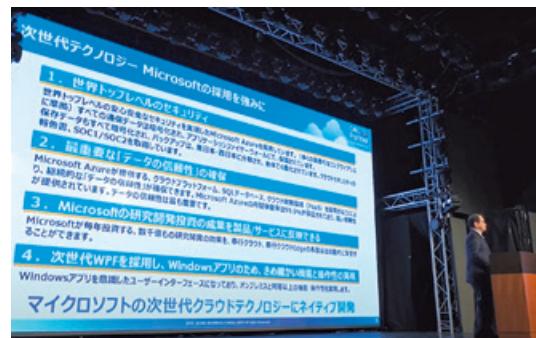
初のオンラインイベントを開催！ 「OBCパートナーカンファレンス2020」および 「奉行クラウドフォーラム2020」を開催しました！

■ OBCパートナーカンファレンス2020



現在の新型コロナウイルス感染症拡大を考慮して、今年のOBCパートナーカンファレンスは初のオンラインでの開催となりました。ウィズコロナの社会で「デジタルシフト」が急速に進む中、企業には従来のアナログな業務環境から、在宅勤務/テレワークなどいつでもどこでも仕事が可能な業務環境への転換が求められています。

本カンファレンスでは、奉行クラウドによる新しい「デジタル業務」を提案。さらに、パートナー様のビジネスと融合した「クラウドパートナービジネス」の実現を見据えたプレゼンテーションを通じて、より堅固なパートナーシップにつながる情報共有の場となりました。



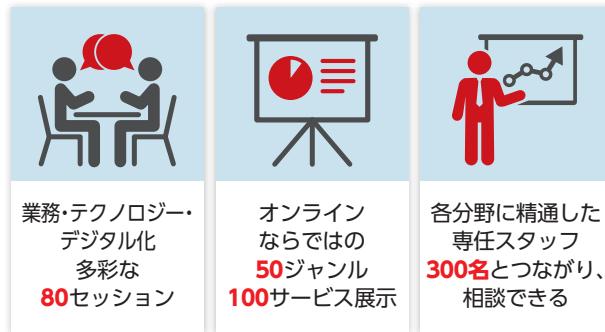
◆ 開催概要

開催日程	2020年10月9日(金)
開催場所	オンライン開催
対象者	弊社パートナー様 弊社とのビジネスパートナーシップをご検討の企業様

■ 奉行クラウドフォーラム2020



初めてオンライン開催となった今年の奉行クラウドフォーラムでは、多彩なテーマのセッションやサービスの展示、各分野に精通した多数の専任スタッフによるオンライン相談会などを実施。2日間にわたり、クラウド化で実現する「業務のデジタル化」について皆様には有益な情報をお届けしてまいりました。また、10日間のオンデマンド配信も実施し、期間中いつでもどこでも様々なテーマのセッションをご視聴いただける環境もご用意。急速に変化する業務環境やその対応について、一緒に考え対話する有意義な機会となりました。



◆ 開催概要

開催日程	ライブ配信:2020年11月5日(木)・11月6日(金) オンデマンド配信:2020年11月5日(木)~11月15日(日)
開催場所	オンライン開催
対象者	弊社製品をご利用のお客様 およびご購入検討のお客様

「日経コンピュータ 顧客満足度調査2020-2021」の 「ERP部門」で第1位を獲得!!

基幹業務に加え、従業員の利便性向上に寄与するクラウドサービスでも企業業務全体を支援する業務ERPパッケージシステムとして、性能・機能/信頼性/運用性の各項目で高評価を獲得。OBCは2年連続、通算13回目の第1位を獲得しました。

(受賞年:2005年~2011年、2014年~2017年、2019年、2020年)



在宅勤務/テレワークなら奉行クラウド 「テレ経理・テレ総務」CM配信中!

現在配信中の「テレ経理・テレ総務」という造語が印象的なTVCM。経理や総務のテレワーク業務も『奉行クラウド』で実現できる!という「次の働き方」を提案する内容となっています。OBCは、オフィスでも在宅でも変わらない生産性を「奉行クラウド」の最新のテクノロジーで支援していきます。



財務諸表

第2四半期貸借対照表 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	第41期末 2020年3月31日現在	第42期 第2四半期末 2020年9月30日現在
資産の部		
流動資産	116,152,789	116,795,967
固定資産	26,976,658	28,759,345
有形固定資産	505,625	444,115
無形固定資産	417,402	335,603
投資その他の資産	26,053,630	27,979,626
資産合計	143,129,448	145,555,312
負債の部		
流動負債	19,713,331	17,671,123
固定負債	4,890,347	5,683,788
負債合計	24,603,679	23,354,911
純資産の部		
株主資本	108,949,791	111,344,078
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,957,416	18,966,705
利益剰余金	84,821,015	87,204,564
自己株式	△5,347,640	△5,346,191
評価・換算差額等	9,575,977	10,856,322
その他有価証券評価差額金	9,575,977	10,856,322
純資産合計	118,525,769	122,200,401
負債純資産合計	143,129,448	145,555,312

第2四半期キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	前第2四半期 累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日	当第2四半期 累計期間 2020年4月1日～ 2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,280,458	5,504,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,298	△272,415
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,878,754	△1,880,988
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,359,406	3,351,076
現金及び現金同等物の期首残高	97,829,792	106,690,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	102,189,198	110,041,855

第2四半期損益計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

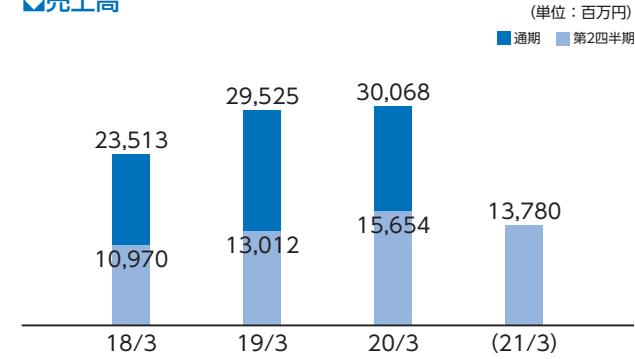
科目	前第2四半期 累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日	当第2四半期 累計期間 2020年4月1日～ 2020年9月30日
1 売上高	15,654,238	13,780,376
売上原価	2,724,704	2,215,007
売上総利益	12,929,534	11,565,369
販売費及び一般管理費	5,844,479	5,967,470
2 営業利益	7,085,054	5,597,899
営業外収益	530,656	615,151
営業外費用	23,902	51,145
経常利益	7,591,809	6,161,905
特別利益	141,468	-
税引前四半期純利益	7,733,277	6,161,905
法人税等	2,383,488	1,899,206
法人税、住民税及び事業税	2,260,195	1,903,584
法人税等調整額	123,292	△4,377
3 四半期純利益	5,349,789	4,262,699

CHECK POINT

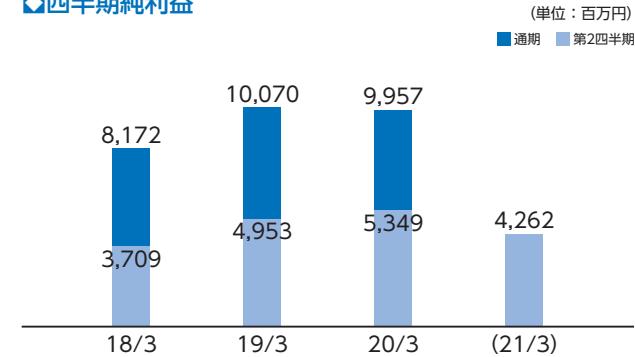
- 売上高**
前期は2019年10月の消費税改正により奉行シリーズの新規需要が増加しましたが、当期はその反動減のため売上高が前年同期比(以下同)12.0%の減収となりました。
- 営業利益**
売上高の減少により売上原価が減少しましたが、新入社員の採用により販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は同21.0%の減益となりました。
- 四半期純利益**
営業利益以下は前期と比較して大きな増減がなかったため、四半期純利益は同20.3%の減益となりました。

財務ハイライト

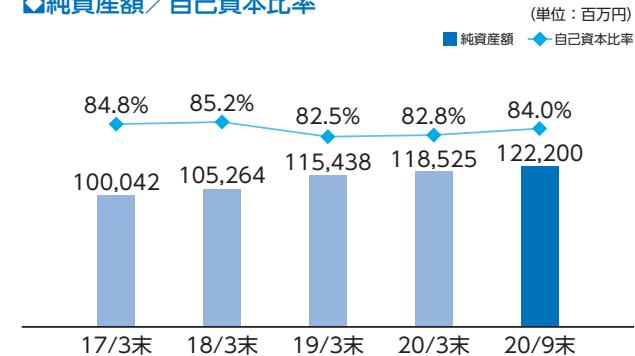
◆売上高



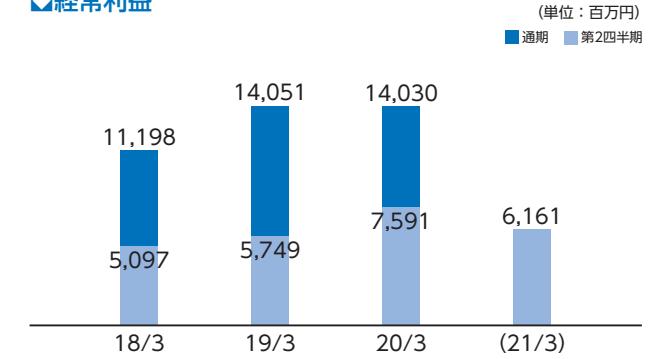
◆四半期純利益



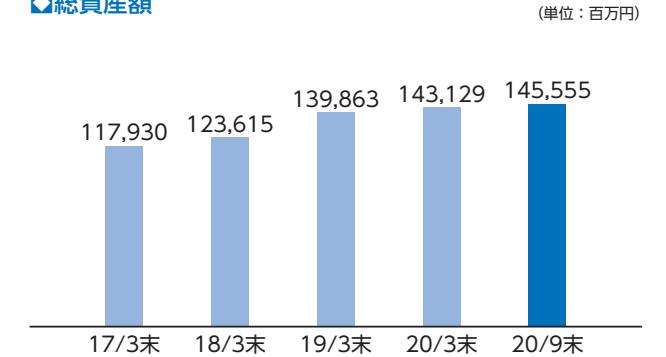
◆純資産額/自己資本比率



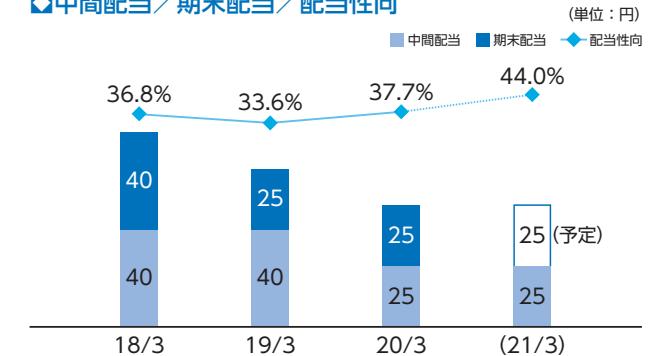
◆経常利益



◆総資産額



◆中間配当/期末配当/配当性向

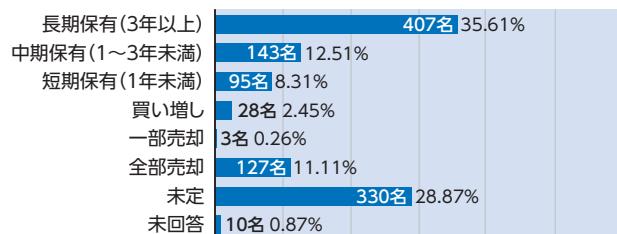


(注)2019年1月1日付で1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、以降の1株当たり配当額は株式分割後の金額になっています。

アンケート結果報告

「第41期奉行通信」で株主様へアンケートを実施させていただきました。株主数7,377名のうち1,143名よりご回答を頂戴しました。株主様へ御礼を申し上げますとともに、その集計結果のご報告をさせていただきます。

Q 今後の当社株式の保有方針についてお聞かせください。



多くの株主様から「長期保有」、次いで「中期保有」との保有方針のご回答をいただきました。今後も安定的な利益還元を実現し、長期保有にメリットを感じていただけるよう営業活動に努めてまいります。

Q 株式投資先を検討する際、参考になっている情報源は何ですか。



投資情報誌など紙媒体が根強い一方で、株主情報サイトや企業HPなどのネット媒体も投資先検討の際の重要な情報源であることがわかりました。OBCもHPのIRサイトの充実を図り、株主様にはもちろんのこと、投資先検討の情報源として役に立つ情報開示に努めてまいります。

● 奉行通信と合冊化された「招集ご通知」についてのご意見・ご感想をたくさんいただきましたので一部ご紹介させていただきます。株主の皆様のご意見を参考に、次回の「招集ご通知」をより充実したものにまいります。

- 情報量が豊富になり、より理解度が深まりました。
- 事業内容と業績を一気に把握出来て大変良い。
- 図表が入っていることで文字だけを追いかけている時よりも内容を理解しやすくなったように思います。
- 経営理念、企業風土、それに製品情報が盛り込まれ充実しています。
- コスト削減として合理的です。今後はさらに紙をなくす方向でネットを活用してはどうでしょう。

企業情報

2020年9月30日現在

株式の状況

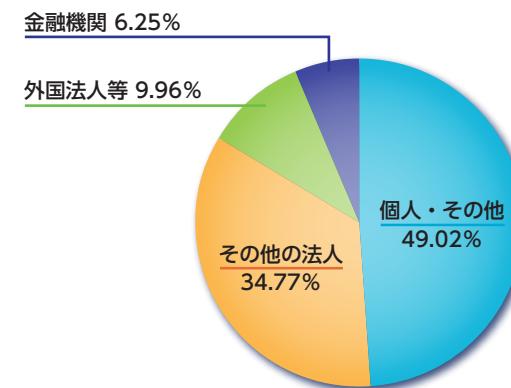
発行可能株式総数	322,816,000株
発行済株式の総数	80,704,000株
株主数	2,971名

大株主 (上位5名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社オービック	27,178	36.16
和田成史	23,112	30.75
和田弘子	5,233	6.96
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,857	2.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,553	2.07

※持株比率は自己株式(5,536千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



※自己株式5,536千株は、「個人・その他」に含めております。

企業プロフィール

会社概況	
商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	1980年12月12日
資本金	10,519,000千円
従業員数	911名

役員	
取締役会長	野田 順 弘
代表取締役社長	和田 成 史
代表取締役副社長	和田 弘 子
専務取締役	中山 茂
常務取締役	唐 鎌 勝 彦
常務取締役	荻 野 俊 夫
取締役	橘 昇 一
取締役	伊 東 千 秋
取締役	沖 原 隆 宗
取締役	川 西 篤
監査役	黒 塚 成 一
監査役	井 坂 眞 持
監査役	高 橋 利 郎

主要事業拠点	
本社/東京営業部	〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー32F
大阪支店	〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F
名古屋支店	〒450-6325 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋25F

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページ)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
一単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

■ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

株主様の口座がある証券会社等へお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、左記の電話照会先にお問い合わせいたします。

■ 「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。

当社IRサイトのご案内

財務ハイライトや決算のご報告、奉行通信などが、いつでもどこでも、ご覧いただけるよう、当社IRサイトは、スマートフォンにも対応しています。



※実際にスマホで見た際の財務ハイライト画面イメージ。



1 財務ハイライト <https://www.obc.co.jp/corporate/ir/highlight/>
四半期ごとの決算情報をもとに、見やすさを工夫。タイムリーにご覧いただけます。

2 決算のご報告 <https://www.obc.co.jp/corporate/ir/release/report>
有価証券報告書・四半期報告書に掲載された内容をもとに、より充実した情報量・体裁となりました。

3 IRライブラリー <https://www.obc.co.jp/corporate/ir/library/>
有価証券報告書、決算短信等、過去の開示書類をご覧いただけます。また、奉行通信やアナリスト向け説明会の内容も、このページから閲覧可能です。



株式会社

オービックビジネスコンサルタント

<https://www.obc.co.jp/>